

愛知身障

発行所
一般社団法人
愛知県身体障害者福祉団体連合会
名古屋市中区東白壁一丁目50番地
愛知県白壁庁舎内
電話 (052) 228-8505
FAX (052) 228-8506
E-mail FJP47313@nifty.com
加賀時 男二
永田 耕
定価1部30円



慶 春

一般社団法人
愛知県身体障害者福祉団体連合会
会長 加賀時 男

あけましておめでとうございます。会員並びにご家族の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。



あわせて、昨年中の本会の運営並びに事業の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。昨年においても、愛知県身体障害者福祉大会を始めとする事業を盛大に開催できましたことを心から感謝申し上げます。また、昨年からプロジェクトチームを立ち上げ、愛身連、各支部の組織強化や活性化について話し合いを行いました。その一つとして、障害者週間に向けた街頭キャンペーンを各支部で行ったところであり、多くの皆様

新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい1年となります。心からお祈り申し上げます。昨年は、リニア中央新幹線の本格工事が愛知県内で着工され、愛知を

拠点に開発が進むMRJの米国内での飛行試験がスタートするなど、日本の未来を創るプロジェクトが、またひとつ大きく前進した年となりました。そして、アジア競技大会の2026年愛知名古屋での開催が決定し、また、全国初の有料道路コンセッションや公道を使った本格的な自動走行の実証実験も始まるなど、新たな取組に果敢に挑戦し、着実に成果を挙げた1年となりました。今年も、こうした取組を進展させるとともに、新たな取組に積極的にチャレンジし、愛知の産業力、経済力、文化力、人財力、地域力を更に高め、愛知の可能性を大きく広げる1年としてまいります。

まず、2027年度のリニア開業に向けた名古屋駅のスーパーターミナル化や鉄道・道路ネットワークの強化など、中京大都市圏づくりの取組を着実に進めながら、次世代自動

ご協力いただきましたこと、御礼申し上げます。このような活動を地道にしていけることが、大事な一歩となりますので、共に頑張ってください。

さて、昨年4月に「障害者差別解消法」が施行され、愛知県においても「愛知県障害者差別解消推進条例」が全面施行されました。10月には愛知県議会において「手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」が議決されるなど、障害者を取りまく環境は大きく変化し、共生社会の実現に向けて、改めてスタートが切られました。

愛身連におきましても、関係機関と連携し、法律や条例の周知、啓発に努め活動して参りますので、会員の皆様におかれましても、本会の活動に一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後となりましたが、会員の皆様にとって、本年が実りある一年となりますようご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。
平成29年元旦

車、航空宇宙、ロボット・AIといった次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の国際競争力の強化、2019年秋の開業に向けた国際展示場の整備など、愛知の産業力を高める取組に力を注ぎ、一層の飛躍を目指してまいります。

また、「Heart of JAPAN ~ Technology & Tradition」をキャッチワードに、産業観光や武将観光、さらには、昨年末、ユネスコ無形文化遺産に全国最多の5件が登録された日本一の山車からくりで代表される歴史・伝統文化など、愛知の魅力の創造・発信と外国人観光客の更なる誘客に取り組むとともに、伊勢志摩サミットで培った、愛知・名古屋のプレゼンスと国際的なネットワークを活かし、積極的に国際交流を進めてまいります。

こうした取組以外にも、あいち健康の森を拠点に、認知症に理解の深いまちづくりの先進的なモデルを目指す「オレンジタウン構想」に着手するほか、引き続き、医療・福祉の充実、教育・人づくり、地震津波対策や交通安全対策、「環境首都あいち」に向けた取組、地方分権や行財政改革の推進、東三河地域の振興にもしっかりと取り組み、愛知の総合力に更なる厚みを増してまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」と「すべての人が輝く愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。
平成29年元旦

79名を表彰

愛知県身体障害者福祉大会

稲沢市で開催!

昨年12月18日(日)、稲沢市にある「名古屋文理大学文化フォーラム」において、第56回愛知県身体障害者福祉大会を開催しました。大会には、愛知県内(名古屋を除く)から身障会員など約1,000名が参加し、身体障害者福祉に功績のあった方々への表彰や国、県への要望を含む議事の協議を行いました。

また当日は、お忙しい中、多くの来賓の皆様にもご臨席いただきました。

まず、第一部において大会委員長である稲沢市身体障害者福祉協会の鷹羽純也会長の挨拶があり、引き続き愛身連加賀時男会長が「今後も福祉活動に励み、共生社会の実現を目指してまいります。」と式辞を述べた後、加藤錠司郎稲沢市長、出口勝実稲沢市議長から歓迎のお言葉をいただきました。

その後、身体障害者福祉に功績のあった79名の方に対して、愛知県知事、愛知県社会福祉協議会長、愛知県身体障害者福祉団体連合会長から、表彰状、顕彰状が授与されました。

また、来賓祝辞として、大村秀章愛知県知事が手話を交えて挨拶をされ、長坂康正衆議院議員、岡本充功衆議院議員、久保田浩文愛知県議会議長、加藤徹愛知県社会福祉協議会専務理事(会長代理)に挨拶をしていただきました。

第2部の議事では、13項目の大会決議と大会スローガン・宣言が満場の拍手で採決されました。

最後に次期開催地となる日進市身体障害者福祉協会の加



藤会長から挨拶があり、大会は無事終了しました。

方々のお名前は次のとおりです。

愛知県知事表彰 14名
▼自立更生者 4名
山本宣文(豊川市)、吉田けさ江(東海市)、神谷敏雄(あま市)、平野久夫(海部郡蟹江町)

▼更生援護功労者 10名
河部達男(豊橋市)、川崎八重子(宮市)、加藤とみ子(碧南市)、谷口 重(蒲郡市)、紀藤 守(犬山市)、伊藤 甫(稲沢市)、菅原祥(東海市)、箕浦勇三(知立市)、西川廣子(弥富市)、松本春代(海部郡蟹江町)

愛知県社会福祉協議会会長顕彰 21名
▼自立更生者 8名
木村直也(豊橋市)、岩永千弥子(瀬戸市)、次井一男(豊田市)、間瀬記坂(安城市)、中嶋哲夫(西尾市)、中根猛雅(西尾市)、太田雅美(あま市)、井澤豊文(津島市愛友会)

▼更生援護功労者 13名
峯 源一(半田市)、大高博嗣(豊川市)、鈴木弘和(碧南市)、馬場玲子(犬山市)、寺田ユリ子(知立市)、千賀勝治(田原市)、高坂 守(愛西市)、福井昌子(北名古屋市)、犬飼 守

(弥富市)、江口晴好(海部郡蟹江町)、佐野章光(海部郡飛鳥村)、平林武廣(知多郡東浦町)、古井戸保一(北設楽郡設楽町)

▼更生援護功労者 22名
藤好美奈子(岡崎市)、鈴木みや子(岡崎市)、村山保子(宮市)、今井千代子(宮市)、松本ミエ子(瀬戸市)、矢野昭男(半田市)、杉浦丈夫(碧南市)、永井道子(豊田市)、川合英世(豊田市)、竹内 章(豊田市)、神谷トシ子(安城市)、川越雄二(西尾市)、羽賀清明(蒲郡市)、高間美枝子(犬山市)、鈴木政雄(新城市)、野村土佐雄(新城市)、林 武男(知立市)、鈴木新一(田原市)、長瀬鎮(北名古屋市)、服部廣美(弥富市)、小川博美(知多郡東浦町)、村松敬策(北設楽郡設楽町)

山 守(清須市)、安井春男(あま市)、竹内和義(知多郡阿久比町)、大岩江利子(知多郡美浜町)、伊藤ついで子(北設楽郡東栄町)、井上真治(稲沢市)

愛聴協、中川美子(清須市)愛難聴、禪野品俊(瀬戸市愛友

▼自立更生者 22名
藤好美奈子(岡崎市)、鈴木みや子(岡崎市)、村山保子(宮市)、今井千代子(宮市)、松本ミエ子(瀬戸市)、矢野昭男(半田市)、杉浦丈夫(碧南市)、永井道子(豊田市)、川合英世(豊田市)、竹内 章(豊田市)、神谷トシ子(安城市)、川越雄二(西尾市)、羽賀清明(蒲郡市)、高間美枝子(犬山市)、鈴木政雄(新城市)、野村土佐雄(新城市)、林 武男(知立市)、鈴木新一(田原市)、長瀬鎮(北名古屋市)、服部廣美(弥富市)、小川博美(知多郡東浦町)、村松敬策(北設楽郡設楽町)

▼更生援護功労者 22名
藤好美奈子(岡崎市)、鈴木みや子(岡崎市)、村山保子(宮市)、今井千代子(宮市)、松本ミエ子(瀬戸市)、矢野昭男(半田市)、杉浦丈夫(碧南市)、永井道子(豊田市)、川合英世(豊田市)、竹内 章(豊田市)、神谷トシ子(安城市)、川越雄二(西尾市)、羽賀清明(蒲郡市)、高間美枝子(犬山市)、鈴木政雄(新城市)、野村土佐雄(新城市)、林 武男(知立市)、鈴木新一(田原市)、長瀬鎮(北名古屋市)、服部廣美(弥富市)、小川博美(知多郡東浦町)、村松敬策(北設楽郡設楽町)

▼更生援護功労者 22名
藤好美奈子(岡崎市)、鈴木みや子(岡崎市)、村山保子(宮市)、今井千代子(宮市)、松本ミエ子(瀬戸市)、矢野昭男(半田市)、杉浦丈夫(碧南市)、永井道子(豊田市)、川合英世(豊田市)、竹内 章(豊田市)、神谷トシ子(安城市)、川越雄二(西尾市)、羽賀清明(蒲郡市)、高間美枝子(犬山市)、鈴木政雄(新城市)、野村土佐雄(新城市)、林 武男(知立市)、鈴木新一(田原市)、長瀬鎮(北名古屋市)、服部廣美(弥富市)、小川博美(知多郡東浦町)、村松敬策(北設楽郡設楽町)

▼更生援護功労者 22名
藤好美奈子(岡崎市)、鈴木みや子(岡崎市)、村山保子(宮市)、今井千代子(宮市)、松本ミエ子(瀬戸市)、矢野昭男(半田市)、杉浦丈夫(碧南市)、永井道子(豊田市)、川合英世(豊田市)、竹内 章(豊田市)、神谷トシ子(安城市)、川越雄二(西尾市)、羽賀清明(蒲郡市)、高間美枝子(犬山市)、鈴木政雄(新城市)、野村土佐雄(新城市)、林 武男(知立市)、鈴木新一(田原市)、長瀬鎮(北名古屋市)、服部廣美(弥富市)、小川博美(知多郡東浦町)、村松敬策(北設楽郡設楽町)

▼更生援護功労者 22名
藤好美奈子(岡崎市)、鈴木みや子(岡崎市)、村山保子(宮市)、今井千代子(宮市)、松本ミエ子(瀬戸市)、矢野昭男(半田市)、杉浦丈夫(碧南市)、永井道子(豊田市)、川合英世(豊田市)、竹内 章(豊田市)、神谷トシ子(安城市)、川越雄二(西尾市)、羽賀清明(蒲郡市)、高間美枝子(犬山市)、鈴木政雄(新城市)、野村土佐雄(新城市)、林 武男(知立市)、鈴木新一(田原市)、長瀬鎮(北名古屋市)、服部廣美(弥富市)、小川博美(知多郡東浦町)、村松敬策(北設楽郡設楽町)

一般財団法人 城西福祉会

〒462-0021 名古屋市北区成願寺 2-6-19
電話:052-912-3946 FAX:052-913-0130
ホームページ: http://www.josai.or.jp/ Eメール: info@josai.or.jp

～城西福祉会は、昭和41年に身体に障害を持たれた方が、自動車に関する技術を身につけ「第二の新しい手足」として社会の一員としての生活ができるように、支援・援助を致したいとの思いで設立いたしました～

無料 自動車練習コース

運転技術の向上、交通事故を起こさないために自動車練習コースで運転操作の技術を向上させませんか?身体障害者手帳をお持ちの方は無料となります。
定休日:毎週月曜日、夏期及び年末年始 利用時間:9時～17時まで(最終受付16時)

第9回身体障害者安全運転競技大会 5月開催予定!

道路交通法の学科テストや運転技能コンテストを行い安全運転意識の向上を図ります。優勝者には賞品を、参加者全員に記念品を用意しております。詳しくは城西福祉会まで。

参加費無料・昼食付

本大会参加者の総意をもって、次のとおり決議する。

- ① J・R・J バンク倶楽部については、障害者の社会参加のために有効に活用している。その一方で、新幹線の運行が「のぞみ」中心となり、利用希望が多いにも関わらず割引の対象外となっている。
- ② 有料道路における障害者割引の要件については、車両登録から障害者手帳の提示への見直しや、福祉団体等が利用する車両への対象範囲の拡大をされたい。
- ③ 歩車分離式交差点に視覚障害者用音響式信号機の設置を義務づけていただきたい。
- ④ 国道・県道において、各市町村の公共施設または障害者施設を利用する視覚障害者に安全な「エスコートゾーン（横断歩道上の点字ブロック）」を設置されたい。
- ⑤ 公共交通機関は、災害や緊急事態が発生した場合、災害弱者・聴覚障害者等にも情報が確実に届くように万全の体制を整えてください。
- ⑥ 個人病院ではバリアフリー化されているところが少ないので、総合病院の利用にあたっては、車いす利用者は紹介状無しでも受診できるように配慮ください。
- ⑦ 平成28年4月、障害者差別解消法や障害者差別解消推進条例の全面施行を受け、本法律・条例が広く県民に周知されるよう理解啓発を推進されたい。
- ⑧ 自転車運転において、無灯火歩道でのスピードの出しすぎ等によつて歩行者への事故を起こさないように、学校教育の一環として交通安全の積極的な取り組みをお願いしたい。

- ⑨ 車いす駐車場および視覚障害者用ブロックの上に物が置いてあると、利用できなかつたり、転倒等の危険が伴うので、マナー向上の呼びかけを周知していただきたい。
- ⑩ 高次脳機能障害者の実情を広く県民に理解してもらうよう努めるとともに、高次脳機能障害者に対する支援策を講ずるよう要望する。
- ⑪ 重度の身体障害者が短期入所（ショートステイ）を利用したい場合、地域によっては近く利用できる施設がないので、要援護者や介護者の負担軽減を図るためにも事業所を増やしてほしい。
- ⑫ 身体障害者相談員への研修を継続実施するとともに、県内市町村に対し、障害者相談員の重要性を周知徹底すること。
- ⑬ 愛知県身体障害者福祉団体連合会組織強化のため、各市町村は、身体障害者手帳交付者に対して障害者団体の情報提供や入会の紹介等に協力するよう要望する。

定されたことで、社会全体で障害者への理解を深めていく取り組みが一層求められている。

法や条例のもと、当事者である我々が先頭に立ち、障害者への偏見や差別を生まない社会の実現に向けて積極的に行動していかなければならない。

そのために、県内の一人でも多くの障害者が愛知県身体障害者福祉団体連合会に集い、障害者が生き生きと、安心して暮らせる地域社会の実現をめざして、一致団結し、より一層の努力をしていくことを誓い、ここに宣言する。

【大会を終えて】

大会で決議された国への要望については、日身連を通じて国へ要望をします。また、県への要望については、正副会長が愛知県庁へ陳情を行う予定となっております。

最後になりましたが、大会開催にご尽力いただきました稲沢市役所、稲沢市社会福祉協議会の皆様や多くのボランティアの皆様方に厚くお礼申し上げます。

ありがとうございます。

「カラオケで交流」

第7回カラオケ交流大会

岡崎市で開催

昨年9月25日、第7回を迎えた愛身連カラオケ交流大会を「岡崎市西部地域交流センター・やはぎかん」で行い、20支部から45名の方が参加されました。

参加者の方は、歌に気持ちこめ熱唱し、自慢ののどを披露されました。

最後の曲である「海峡出船」が歌い終わつたあとに、出場者による順位投票を行いました。会場の皆さんには、投票結果がでるまでの間、2名のマジシャンによる「マジックショー」を見ていただき、その後、表彰式を行いました。

投票の結果、優勝、準優勝、第3位の3名とパフォーマンスが特に素晴らしかった2名が敢闘賞に選ばれました。

【優勝】岩瀬照美(碧南市)
曲名 壺坂情話

【準優勝】齊藤繁雄(美浜町)
曲名 四万十川

【第3位】成瀬欣恵(豊田市)
曲名 ひばり…に恋して

【敢闘賞】木村実己夫(豊明市)
曲名 風港

「愛知県で開催」

第20回日身連

中部ブロック相談員研修会

昨年10月11日(火)・12日(水)にかけて、第20回日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会を豊橋市にある「ホテルシーパレスリゾート」において開催しました。

研修会には、愛知県も含め中部ブロック管内(富山県石川県・福井県岐阜県三重県・名古屋市中区)から延べ216名の方が参加されました。

1日目は、まず「障害者差別解消法の現状について」と題して、厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室 相談支援専門官 大平真太郎氏による講演が行われました。

4月に施行された障害者差別解消法の施行にいたる経緯などから、基本指針、法の現状についてお話しいただきました。

その後、「障害者差別解消法の施行された今」と題して、中部ブロック管内各県市の代表者1名が各県市町村等における対応状況などについて発表を行いました。日本身体障害者団体連合会 阿部一彦会長をコメンテーターに迎え、7名のシンポジストの発表後に的確なアドバイス等を行っていただきました。

2日目は、豊橋市中心配ごと相談員(元豊橋市社会福祉協議会常務理事)の近藤洋二氏より「笑顔で健康」と題して講演が行われ、多くの相談員の方が近藤氏の話しに引き込まれ、いつの間にか笑顔になつていらつしやいました。

相談員の皆さんは、メモをとつたり、質問をしたりと大変熱心に研修会に参加されていました。なお、来年度は石川県で開催予定です。

受賞・入賞

おめでとうございます!

第66回障害者自立更生等

— 厚生労働大臣表彰 —

- ◇ 自立更生者
 - 小島勇次(犬山市)
- ◇ 更生援護功労者
 - 石川健一(岡崎市)
 - 森下達矢(田原市)
- 第34回
 - ◆ 高橋省吾(知立市)
 - 第31回障害者による書道・写真全国コンテスト —
 - 【写真部門】
 - ☆金賞 浅井由幸
 - 作品題名「月光の渚」
 - ☆銅賞 原 哲士
 - 作品題名「楽しい一日」

赤い羽根募金へのご協力

ありがとうございます!

昨年10月1日から12月31日までの期間、赤い羽根共同募金運動が実施されました。

会員皆様のご協力により赤い羽根バッジ132個の申込みがありました。

なお、次年度に愛知県共同募金会からの事業費の配分が決定した場合、バッジ1個につき95%の額が愛身連に配分される予定です。

皆様の善意に感謝申し上げます。ありがとうございます!

熊本地震への支援金

ありがとうございます!

昨年4月に熊本県などで発生した大規模な地震災害への支援金を募つたところ、多くの支部よりご協力をいただきました。愛知県からの支援金額は、382,212円(平成28年10月25日現在)でした。

全国から集まった支援金については、第1次支援金として日身連より1千万円が熊本県身体障害者福祉団体連合会へ復興支援のため渡されました。

ご協力いただきました皆様の善意に感謝いたしますとともにお礼申し上げます。

ありがとうございます!

第8回身体障害者安全運転競技大会開催!

昨年10月30日(日)、名古屋北區にある城西福祉会において「第8回身体障害者安全運転競技大会」が開催され、15名の方が参加し、安全運転への意識を再認識されました。

城西福祉会の柴田理事長からは「自分がどういふ運転をしているか再認識していただき、楽しんで大会を頑張ってください。」と挨拶がありました。

最初に「運転適性検査」を行った後、25問の設問に〇×で答える学科問題を行いました。休憩後、名古屋北警察署の交通課長から交通安全についての話しがありました。

午後は、8つの決められたコースを運転する技能テストが行われました。

この大会はスピードや点数を競うものではなく、安全運転の意識向上を図るものです。交通安全を再度確認するために、ぜひ多くの方に参加していただきたいと思います。

「愛身連では、昨年からプロジェクトチームを立ち上げ、各支部の活性化について話し合いを行いました。その一つとして、障害者に対する理解と関心を深めてもらうために、県民の皆様へポケットティッシュを配布する街頭キャンペーンを行いました。」

※写真は、西尾支部 藤田会長がポケットティッシュを渡す様子と、のぼり旗。

「障害者差別解消法スタート 障害のある人もない人も共に笑顔で生きる社会を！」

「愛身連賛助会員への継続ありがとうございます」

愛身連賛助会員への継続を心よりお礼申し上げます。

(継続賛助会員ご紹介)

- (二財)城西福祉会様
- 鳥手そうめん販売様
- (株)東海シーオーエス様
- 丸大食品様

※愛身連では、賛助会員を募集しております。ご支援、ご協力をお願いいたします。

「愛身連では、昨年からプロジェクトチームを立ち上げ、各支部の活性化について話し合いを行いました。その一つとして、障害者に対する理解と関心を深めてもらうために、県民の皆様へポケットティッシュを配布する街頭キャンペーンを行いました。」

「愛身連では、昨年からプロジェクトチームを立ち上げ、各支部の活性化について話し合いを行いました。その一つとして、障害者に対する理解と関心を深めてもらうために、県民の皆様へポケットティッシュを配布する街頭キャンペーンを行いました。」